

平成 29 年 8 月 31 日
農林中央金庫福島支店
株式会社日本政策金融公庫
福島支店

水野谷鶏卵店への融資について ～黒鶏の生産拡大や6次化推進等の攻めの農業を支援～

農林中央金庫（略称：農林中金）福島支店と日本政策金融公庫（略称：日本公庫）福島支店農林水産事業は、西白河郡中島村で採卵養鶏と6次化商品の加工・販売を営む有限会社水野谷鶏卵店（以下、「当社」という。）が行う黒鶏の生産拡大に対して、融資を行いましたので、お知らせします。

○ 経営環境の変化に対応

当社は、黒鶏の飼養と同鶏卵・鶏肉を素材とした6次化商品の加工・販売を行う農業法人です。黒鶏はオランダ原産のネラという品種で、全国でも飼養羽数の少ない希少な鶏であり、その卵は深いコクがあると食味の良さに定評があります。

EUとの経済連携協定が大枠合意に達するなど外部環境が変化するなか、農業経営の効率化や収益性の向上が大きな経営課題となっていることから、当社は、生産設備の増強による黒鶏の生産拡大を計画しました。

老朽化した鶏舎の建替えとともに最新の飼養設備の導入等を行うことで、作業効率化と低コスト化、防疫体制の強化など、経営の安定化に取り組むこととしています。また、黒鶏の鶏卵や鶏肉の加工にも積極的に取り組み、新商品開発や販路拡大等により、さらなる6次化推進を図る計画です。

○ 農林中金・日本公庫が連携して攻めの農業を支援

今回の事業にあたっては、畜産クラスター事業¹や中島村の産業振興事業等補助金を活用するほか、農林中金は、当社の事業構想をふまえた資金計画策定の支援などを行い、日本公庫は、農林中金と連携して当社のビジネスモデルや経営者能力等を評価し、新鶏舎の建設と飼養設備の導入資金として4,000万円の融資を行いました。

当社社長の水野谷薫さんは、今般の生産拡大に伴い「黒鶏卵ブランドの確立を図るとともに、深いコクと自然の甘みのある自慢の卵を多くの皆様にお届けしたい」と話しています。

農林中金及び日本公庫は、今後とも経営支援や融資を通して、攻めの農業ならびに農業の成長産業化に向けた取組みを積極的に支援して参ります。

¹ 「畜産クラスター」とは、畜産農家をはじめとする地域の関係者が連携・結集し、地域の収益性を高めることで、生産基盤の強化を図ろうとするもの。「畜産クラスター事業」により、施設整備や機械導入等を支援することで、畜産クラスターの取組みを推進する。

(参 考)

1 支援先の概要

事 業 者	有限会社 水野谷鶏卵店
代 表 者	水野谷 薫
所 在 地	福島県西白河郡中島村大字滑津字新田 24 番地
設立年月日	平成 1 0 年 1 1 年 2 日
資 本 金	5 0 0 万円
事 業 内 容	採卵養鶏および鶏卵・鶏肉を素材とした 6 次化商品の加工・販売
事 業 規 模	飼養羽数：現行 6,500 羽、新築鶏舎完成後 13,000 羽

2 黒鶏および 6 次化商品



<お問い合わせ先>

○農林中央金庫福島支店営業第二班 TEL：024-552-5606（和田、鹿山）
〒960-0231 福島県飯坂町平野字三枚長1-1

○日本政策金融公庫福島支店農林水産事業 TEL：024-521-3328（清水、山本）
〒960-8031 福島県福島市栄町6-6 NBFユニックスビル3階